

第2号様式

平成29年度第1回法務省入札監視委員会審議概要

|                          |   |        |
|--------------------------|---|--------|
| 開催日時及び場所                 | 平成29年6月13日(火) 13:30~15:50<br>法務省大臣官房施設課入札室      |        |
| 委員                       | 角田 茂 (大学参事) ※委員長<br>只木 誠 (大学教授)<br>遠藤 和義 (大学教授) |        |
| 審議対象期間                   | 平成28年12月1日から平成29年3月31日まで                        |        |
| 抽出案件                     | 総件数 278件  | (備考)   |
| 工 一 般 競 争                | 214件  |        |
| 標 準 指 名 競 争              | 1件  |        |
| 事 随 意 契 約                | 28件   |        |
| 簡易公募型プロポーザル方式            | 0件  |        |
| 業 一 般 競 争                | 20件   |        |
| 簡易公募型競争                  | 5件  |        |
| 務 標 準 指 名 競 争            | 4件  |        |
| 随 意 契 約                  | 6件  |        |
|                          | 意見・質問   | 回 答    |
| 委員からの意見・質問,<br>それに対する回答等 | 別紙のとおり  | 別紙のとおり |
|                          | 具申又は勧告  | 回 答    |
| 委員会による意見<br>具申又は勧告の内容    | なし  | なし     |

別 紙

| 意 見 ・ 質 問   | 回 答   |
|---|---|
| 1 工事の発注状況について<br>意見・質問なし                                    |   |
| 2 業務の発注状況について<br>意見・質問なし                                    |   |
| 3 応札者が一者であった契約について<br>意見・質問なし                               |   |
| 4 指名停止の運用状況について<br>意見・質問なし                                  |   |
| 5 工事抽出案件について  |   |
| (1) 平成28年度松山刑務所室内実習場等新営工事<br>意見・質問なし                        |   |
| (2) 平成28年度松本少年刑務所入浴場給湯設備改修工事                                |   |
| 指名業者一覧に、指名業者の選定理由として取引実績とだけ書いているが、この方法が一般的な選定方法なのか。         | <p>本件は、今回の手続前に2回一般競争入札を行ったが、2回とも応募者がなく不調となっていたものである。</p> <p>指名競争入札を行うに当たり、通常<br/>の指名方法では入札参加者がいない可能性が非常に高かったことから、同刑務所との取引実績等を考慮して指名したものである。</p> |
| 平成28年度において行った指名競争入札が何件あり、各入札ごとに何社を指名し、そのうち何社が辞退したかのデータはあるか。 | <p>平成28年度中に発注した工事について、指名競争入札を行った案件はなく、データ化は行っていない。</p>  |
| (3) 国際法務総合センター（仮称）<br>A-1工区新営（建築）工事（第10回変更）                 |   |

|  |  |
|--|--|
| <p>変更契約を行う理由について、説明内容が分かりにくい。説明内容が抽象的すぎるので丁寧な理由説明が必要ではないか。</p>             | <p>今後、変更契約の理由については、分かりやすい記載となるよう努めていきたい。</p>   |
| <p>6 業務抽出案件について</p>  |  |
| <p>(1) 平成28年度甲府刑務所処遇管理棟等耐震診断業務</p>   |  |
| <p>本件も含めて、同時期に発注している複数の耐震診断業務において、かなり低い落札率のものもあるが、これは何が原因と考えているか。</p>      | <p>今回発注した複数の耐震診断業務では、例えば、1つの案件で複数施設の耐震診断をまとめて行うこととしていることから、案件によって、対象となる複数の施設が広範囲に点在しているケースや、比較的近郊に固まっていたりするケースがあるなど、案件ごとの条件が一律でなかったこともあって、落札率に違いがみられたものと考えられる。</p> |
| <p>(2) 平成28年度喜連川少年院改修実施設計業務</p>  |  |
| <p>本件は、いずれの入札参加者も予定価格よりも相当低い金額で入札しているが、入札参加者と国との積算でどの項目で差が生じていたのか知りたい。</p> | <p>業務の発注においては、工事の発注と違い入札時に積算内訳書の提出を求めているため、積算根拠の差は不明である。</p>   |
| <p>今後のためにも、入札参加者に低価格入札となった積算根拠を情報収集しても良いのではないか。</p>                        | <p>ご意見のとおり、今後積極的に情報収集を行っていく。</p>   |
| <p>(3) 平成28年度津山拘置支所改修実施設計業務</p>  |  |
| <p>意見・質問なし。</p>  |  |
| <p>(4) 平成28年度大阪拘置所第2期工事実施設計業務</p>  |  |
| <p>平成21年のプロポーザルで実施設計の契約をした者と随意契約をしているが、当初契約から8年</p>                        | <p>本件は、当初の契約が当該拘置所全体の実施設計であったものについて、既に工事が完了した部分の変更箇所を</p>  |

|   |   |
|---|---|
| <p>ほど経過していることに問題はな<br/>いのか。</p> <p>時の経過とともに、受注した設<br/>計事務所の当初設計に携わった人<br/>が変わることもあれば、技術の進<br/>歩や社会的な変化もある。どこか<br/>で区切りを付ける必要があるの<br/>ではないか。</p> | <p>踏まえた見直しを行う業務であるた<br/>め、当初発注した者と随意契約をする<br/>こととした。</p> <p>都市にある拘置所においては工事の<br/>長期化が起こりやすい傾向にあるた<br/>め、今後注意することとしたい。</p> |
|---|---|